

平成19年度取組事例

(中間年評価における評価結果区分ごとに収集した集落活動等の概要)

(参考) 総合評価の基準

【集落協定】

取組事項	主な内容	評価(例)	
必須	集落マスタープラン A	○ 概ね5年後の協定を目指す農業生産活動等の体備に向けた具体的な活動計画 ◎ (優良)	
	農業生産活動等として取り組むべき事項	B	○ 耕作放棄の防止等の活動 ・ 耕作放棄地の復旧、鳥獣害防止等 ○ (適当)
		C	○ 水路・農道等の管理活動 ・ 水路延長、道路延長等 ◎
		D	○ 多面的機能を増進する活動 ・ 下草刈り、棚田オーナー、市民農園、グリーン・ツーリズム、景観作物の栽培等 ○
選択	農業生産活動等の継続に向けた取組	E	○ 保全マップの作成 ・ 水路・道路の補修、鳥獣害防止、耕作放棄地の ◎
		F	○ A要件 ・ 機械・農作業の共同化、地場産農産物等の加工・販売、新規就農者の確保、認定農業者の育成、担い手への農地集積、非農家や他集落との連携等 ○
		G	○ B要件 ・ 集落営農の育成、担い手への農地利用集積等
加算措置	H	○ 規模拡大 ○ 土地利用調整 ○ 耕作放棄地の復旧 ○ 法人設立 △ (指導・助言)	

総合評価	
優	主な取組内容のA~Hに◎または○が6以上で、かつ、×がない場合
良	主な取組内容のA~Hに◎または○が4以上で、かつ、A~Dに×がない場合
可	A~Dに×がない場合
不可	A~Dに×がある場合

【個別協定】

取組事項	主な内容	評価(例)	
必須	集落マスタープラン A	○ 利用権の設定等または農作業の受委託 ◎ (優良)	
	農業生産活動等として取り組むべき事項	B	○ 耕作放棄の防止等の活動 ・ 耕作放棄地の復旧、鳥獣害防止等 ○ (適当)
C		○ 水路・農道等の管理活動 ・ 水路延長、道路延長等 ◎	
D		○ 多面的機能を増進する活動 ・ 下草刈り、棚田オーナー、市民農園、グリーン・ツーリズム、景観作物の栽培等 ○	
選択	利用権の設定等として取り組むべき事項	E	○ 一定割合以上の新たな利用権の設定等
加算措置	F	○ 規模拡大 ○ 土地利用調整 ○ 耕作放棄地の復旧 ○ 法人設立 △ (指導・助言)	

総合評価	
優	主な取組内容のA~Fに◎または○が5以上で、かつ、×がない場合
良	主な取組内容のA~Fに◎または○が3以上
可	主な取組内容のA~Fに◎または○が1以上
不可	A~Dに×がある場合

注) 取組事項毎の評価は、上記A~H(個別協定はA~F)の取組毎に「◎:優良」(高い達成が見込める)、「○:適当」(達成が見込める)、「△:要指導・助言」(改善が見込まれる)、「×:返還等」(改善が見込まれない)の4区分で評価。

地目別分類

- 田型 : 協定締結面積に占める田の割合が90%程度以上
- 畑型 : 協定締結面積に占める畑の割合が90%程度以上
- 草地型 : 協定締結面積に占める草地の割合が90%程度以上
- 採草放牧地型 : 協定締結面積に占める採草放牧地の割合が90%程度以上
- 混在型 : 上記以外

規模別分類

- 小規模 : 協定農用地面積が5ha未満の協定
- 標準 : 協定農用地面積が5ha以上20ha未満の協定
- 中規模 : 協定農用地面積が20ha以上50ha未満の協定
- 大規模 : 協定農用地面積が50ha以上の協定

取組事例(単価別総合評価別地目別規模別分類)

	総合評価別	地目別分類	規模別分類	都道府県	市町村	協定	協定の特徴	番号
体制整備単価	優	田型	小規模	愛知県	S市	Y集落	認定農業者の育成を目標とした取組を行っている事例	1
				高知県	S町	H集落	交付金の全額を共同取組活動経費として地域活性化を図っている事例	2
			標準	栃木県	Y市	D集落	棚田オーナー制度を活用し非農家と連携し地域活性化を図っている事例	3
				石川県	W市	I集落	地域の小学校との交流を積極的に実施している事例	4
			中規模	岩手県	K市	S集落	農業体験、村おこしイベントなど地域づくりに向けた取組を実施している事例	5
				岐阜県	T市	S集落	農業生産活動、A要件(体制整備の活動)とも様々な取組を実施しているスーパー「優」協定	6
			大規模	新潟県	M市	K集落	法人化を核とした取組を行っている事例	7
		畑型	小規模	埼玉県	K町	H集落	小規模でも花き鉢物等収益の高い作目の生産販売を行っている事例	8
				三重県	K町	F集落	地元小学校と連携して柑橘の普及に努めている事例	9
			標準	鳥取県	T市	U集落	樹園地地域においてNPO法人との交流、連携を実施している事例	10
				沖縄県	N市	K集落	特産のシークワサーの栽培で集落活性化している事例	11
			中規模	滋賀県	K市	S集落	ブランド茶を中心とした農業生産活動を実施している事例	12
			大規模	和歌山県	S町	H集落	樹園地地域において土地改良区と連携して農業生産活動に取り組む事例	13
		草地型	大規模	北海道	A町	K集落	草地型の大規模な協定事例	14
		採草地	中規模	熊本県	M村	N集落	市民ボランティアと一体となった環境保全活動を実施している事例	15
		混在型	大規模	北海道	T町	R集落	田、畑混在型の優良事例	16
良	田型	小規模	福島県	M市	N集落	グリーン・ツーリズム事業と連携し大学生との交流している事例	17	
			山梨県	F市	K集落	鳥獣被害防止対策に重点を置いている事例	18	
		標準	岐阜県	Y町	A集落	棚田オーナー制度を取り入れている事例	19	
			新潟県	M市	T集落	法人を核として利用集積を進めている事例	20	
	畑型	小規模	奈良県	G市	N集落	参加者2名で樹園地の園道整備を実施している事例	21	
		標準	長崎県	N町	M集落	樹園地で共同取組活動を促進し担い手を育成している事例	22	
可	田型	小規模	岐阜県	G市	W集落	参加者4人で抑草に関する研究など地道な取組を実施している事例	23	
		小規模	兵庫県	S町	T集落	梨の品種更新、学校教育連携に共同取組活動経費を活用している事例	24	
	標準	和歌山県	K市	H集落	樹園地地域において改植により高付加価値化を図っている事例	25		
基礎単価	優	田型	中規模	三重県	K市	H集落	基礎単価協定であるが体制整備の取組を実施している事例	26
	良	田型	小規模	三重県	M市	N集落	棚田百選に選ばれた事例	27
			大規模	北海道	T町	H集落	基礎単価協定であるが都市住民との交流(市民農園)等積極的に実施している事例	28
	可	田型	小規模	大分県	N市	N集落	林業との連携による都市との交流活動を実施している事例	29
		採草地	大規模	熊本県	U村	U集落	NGO団体と協力して草原づくりを実施している事例	30
個別	良	田型	中規模	青森県	S町	M個別	出し手農家39名の農地を一手に引き受ける農業生産法人の事例	31
			小規模	山口県	H市	A個別	出し手1名の農地を農業者が守っている事例	32

○認定農業者の育成を目標とした取組

1. 評価結果

総合評価

優

地目別分類

田型

規模別分類

小規模

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛知県S市 Y集落協定				
協定面積 2.8ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地	
	水稲				
交付金額 22万円	個人配分			50%	
	共同取組活動 (50%)	役員手当・事務費			18%
		水路・農道維持管理			27%
		研修会等費			5%
		鳥獣被害防止対策費			22%
		その他			1%
		共同機械購入積立金			27%
協定参加者	農業者17人、非農業者2人				

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- (1) 5年間の協定期間中に認定農業者1名を育成することを目標とし、将来にわたって持続的な農業生産活動が行えるよう農作業の委託を進める。
- (2) 認定農業者を志向する集落内の担い手を研修会に参加させるなど、マスタープランに定めた目標の達成に向けた取組を行っている。非農家とも連携し、排水路の土砂除去及び付近の草刈りを行う等多面的機能の発揮に係る取組を実施するほか、農用地等保全マップにおいて、鳥獣害防止が必要となる区域を位置づけ、交付金を活用し鳥獣被害の軽減に必要な費用を充当するなどの取組を行っている。



管理されたほ場の様子



林地があり鳥獣による被害が想定される

[平成19年度までの主な効果等]

- 認定農業者の育成
 - ・ 認定農業者を志向する農業者の研修会への参加（21年度までの目標 認定農業者1名）
- 多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携
 - ・ 非農家と連携し排水路の土砂除去及び草刈りを実施

集落協定の評価結果（愛知県S市Y集落協定）

項目	該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
				達成率		
A 集落マスタープランの達成状況	○	—	○	—	○	
農業生産活動等として取り組むべき事項	B 耕作放棄の防止等					△
	④既耕作放棄地の保全管理	○	—	○	—	
	⑥鳥獣被害防止対策	○	—	○	—	
	C 水路・農道等の管理					○
	①水路の管理	○	—	○	—	
	②農道の管理	○	—	○	—	
	③その他の施設の管理	○	—	○	—	
	D 多面的機能を増進する活動					○
	⑩堆きゅう肥の施肥	○	—	○	—	
	農業生産活動等の継続に向けた取組	E 農用地等保全マップの作成・実践				
①農地法面、水路・農道等補修・改良		○	—	○	—	
②鳥獣害防止対策		○	—	○	—	
F A要件					○	
生産性・収益向上	①機械・農作業の共同化	○	2.8ha	2.8ha		100%
担い手育成	②認定農業者の育成	○	1	0		0%
多面的機能の発揮	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携	○	—	○	—	
総合評価					優	

○地域色を活かした農村活性化をめざして～平野集落

1. 評価結果

総合評価

優

地目別分類

田型

規模別分類

小規模

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	高知県T郡S町 H集落協定			
協定面積 2.0ha	田 95.8	畑 4.2	草地 0	採草放牧地 0
交付金額 16.4万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	集落の各担当者の活動に対する経費		77.0%
		水路、農道等の維持管理等集落の共同取組活動経費		23.0%
協定参加者	農業者9人、非農業者1人、黒岩中央保育所（構成員：職員9人、園児35人）			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

(1) H地区では水稲を主として傾斜部では施設園芸（イチゴ）が栽培されているが、担い手農家の高齢化が進み、耕作放棄地が徐々に増加していることから、集落協定における協議と共同活動を通じ、豊かな自然環境保全と地域農業の維持発展を目指す。

具体的目標として農業用施設の維持管理と改良、新規就農者と認定農業者の育成、水稲における農作業共同化、地元保育園児と連携した景観保全活動がある。

(2) H地区は基盤整備が未着手ではあるが、一級河川仁淀川水系第一支柳瀬川の最下流域に開けた比較的条件の良い緩傾斜地域である。台風等洪水時の冠水地帯であることなどから地域揃って早稲を栽培しており、田役・水利組合等の地域活動も盛んである。また、今年度からは農地・水・環境保全向上対策もいち早く導入している。

今年度は地域で企画した収穫祭、「第1回平野がんばる祭」を開催し、町内外から大勢の来客で賑わった。地産地消を目指した新米試食会や田舎料理の出店、カカシコンテストなど独自性とユニークさがあり、非農家も含め地域が一つとなってPRできた。



地域活動（収穫祭／餅投げ）



地域活動（収穫祭／新米試食会）

【平成19年度までの主な効果】

- 機械農作業の共同化（水稲共同防除：当初0ha、目標0.5ha、H19実績 1.0ha）
- 他地域との交流による地域農業活性化（収穫祭企画開催：H19実績 参加約200名）
- 景観作物の作付（コスモス作付と鑑賞会：当初0ha、目標0.2ha、H19実績 0.1ha）
- エリア内の用排水路や農道等資源の適切な維持管理（水路1,000m、農道500m：H19実績 作業年2回）

集落協定の評価結果（高知県 T 郡 S 町 H 集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	○	—	○	
農業生産活動等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等	○	—	○	—	○	
	農地の耕作・管理						
	農地法面の管理						
	水路・農道等の管理	○	—	○	—	○	
	水路の管理						
	農道の管理						
	多面的機能を増進する活動	○	—	○	—	○	
	土砂流亡に配慮した営農						
	景観作物の作付け						
農用地等保全マップの作成・実践		○	—	○	—	○	
農業生産活動等の継続に向けた取組	生産性 収益向上	機械・農作業の共同化	○	0.5ha実施	0.4ha	80%	○
		高付加価値型農業の実践					
		地場産農産物の加工・販売	○	—	○	—	
	担い手 育成	新規就農者の確保	○	1名確保	1名	100%	
		認定農業者の育成	○	1名確保	1名	100%	
		担い手への農地集積					
		担い手への農作業の委託					
	多面的 機能の 発揮	保健休養機能を活かした交流					
		自然生態系の保全に関する連携	○	—	○	—	
		多面的機能の持続的発揮に向けた連					
B 要件	集落を基礎とした営農組織の育成					—	
	担い手集積化					—	
加算措置	規模拡大加算					—	
	土地利用調整加算					—	
	耕作放棄地復旧加算					—	
	法人設立加算					—	
					総合評価	優	

○集落で守る美しくのどかな棚田のある風景

1. 評価結果

総合評価

優

地目別分類

田型

規模別分類

標準

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	栃木県Y市 D集落協定			
協定面積 11.7 ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稲			
交付金額 245.4万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	棚田オーナー推進費		10%
		農用地維持管理費		30%
		共同機械購入費積立		10%
協定参加者	農業者 8人 非農業者2人			

2. 集落マスタープランの概要

当集落は、周囲が山に囲まれ、急峻で1/15程度の傾斜地に約100枚の水田が展開する地域である。また、鹿、熊などの獣害や水路未整備などの問題を抱えている。

5年間の具体的取組として、未整備水路374mの整備、鹿防止ネット490mの設置、機械の共同利用、棚田オーナー制を活用し非農家と連携した活性化を目指している。

[活動内容]		
農業生産活動等	多面的機能増進活動	農業生産活動の体制整備
農地の耕作・管理(田11.7ha)	周辺林地の下草刈り	機械・農作業の共同化
農地法面の定期的な点検	棚田オーナー制度の実施	農地、水路、農道等の補修改修
水路・農道の管理 水路 2.5km 道路 1 km	多面的機能の持続的発揮 に向けた非農家・他集落 等の連携	鳥獣害防止対策(鹿防止ネット)
		規就農者の確保 目標1名



棚田オーナーの田植え風景



老朽化した取水堰の補修

[平成19年度までの主な効果]

- 未整備水路の整備（当初0m、目標374m、H19実績139m）
- 鹿侵入防止ネットの設置（当初0m、目標490m、H19実績200m）
- あげ塗機や動力噴霧器を共同購入し、共同取組以外に農作業も共同で行っている。
- 棚田オーナー制度に係る共同作業及び水路の維持管理作業に非農家2人が参加。
(当初0名、目標2名 H19実績2名)

集落協定の評価結果（栃木県 Y 市 D 集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	○	—	◎	
農業生産活動 等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等					○	
	農地の耕作・管理	○	—	○	—		
	水路・農道等の管理	○	—	○	—	○	
	水路の管理						
	農道の管理						
	多面的機能を増進する活動	○	—	○	—	○	
	土砂流亡に配慮した営農						
景観作物の作付け							
農用地等保全マップの作成・実践		○	—	○	—	◎	
農業生産活動等の 継続に向けた取組	生産性 収益向上	機械・農作業の共同化	○	11,688㎡	11,688㎡	100%	○
		高付加価値型農業の実践					
		地場産農産物の加工・販売					
	担い手 育成	新規就農者の確保					
		認定農業者の育成					
		担い手への農地集積					
		担い手への農作業の委託					
	多面的 機能の 発揮	保健休養機能を活かした交流					
		自然生態系の保全に関する連携					
		多面的機能の持続的発揮に向けた連携	○	非農家との連携	非農家との連携		
B 要件	集落を基礎とした営農組織の育成					—	
	担い手集積化						
加算措置	規模拡大加算					—	
	土地利用調整加算					—	
	耕作放棄地復旧加算					—	
	法人設立加算					—	
					総合評価	優	

○学童農園を通じ集落と地域の繋がりを持つ

1. 評価結果

総合評価 **優** 地目別分類 **田型** 規模別分類 **標準**

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	石川県W市 集落協定			
協定面積 12.8ha	田(100%) 水稻	畑(%)	草地	採草放牧地
交付金額 269万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	農道・水路管理費		95%
		事務費		3%
		積立(農道・水路・農地整備費)		2%
協定参加者	農業者19人、非農業者2人、学校教育機関等1			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- (1) 集落で農業機械を共同購入し、機械農作業の共同化に取り組む。また、地区学校と連携し、地域交流の活性化を図る。
- (2) 農業機械の共同購入による農作業の共同化を通じて耕作放棄地の発生防止に努めている。

また、地元小学校との連携により学童農園を設置し、種まき、芽出ししたナス、ピーマン等の苗の定植等の体験を行った。サツマイモの収穫祭にも取組み、子供たちが収穫したサツマイモを調理実習で調理して農家と一緒に食べるなど、振興を図った。

この学童農園を通じ、地域住民との交流を図るとともに、地域ぐるみの活動として地域の活性化につなげていきたいとしている。



【平成19年度までの主な効果等】

- 機械・農作業の共同化を通じて農地の荒廃を防止
 - ・トラクターを集落共同で購入（平成18年）
 - ・機械・農作業の共同化 1.0ha（21年度目標 1.3ha（協定農用地面積の10%））
- 自然生態系の保全に関する学校教育等との連携
 - ・地元小学校と連携し学童農園を設置 40人が参加

集落協定の評価結果（石川県W市I集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	○	—	○	
農業生産活動 等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等					○	
	賃借権設定・農作業の委託						
	農地法面の管理	○	—	○	—		
	水路・農道等の管理					○	
	水路の管理	○	—	○	—		
	農道の管理	○	—	○	—		
	多面的機能を増進する活動					○	
	周辺林地の下草刈	○	—	○	—		
	景観作物の作付け						
	農用地等保全マップの作成・実践		○	—	○	—	○
農業生産活動等の 継続に向けた取組	生産性 収益向上	機械・農作業の共同化	○	1.4ha	1.0ha	67%	○
		高付加価値型農業の実践					
		地場産農産物の加工・販売					
	担い手 育成	新規就農者の確保					
		認定農業者の育成					
		担い手への農地集積					
		担い手への農作業の委託					
	多面的 機能の 発揮	保健休養機能を活かした交流					
		自然生態系の保全に関する連携					
		多面的機能の持続的発揮に向けた連	○	—	○		
B要件	集落を基礎とした営農組織の育成						
	担い手集積化						
加算措置	規模拡大加算						
	土地利用調整加算						
	耕作放棄地復旧加算						
	法人設立加算						
					総合評価	優	

○村おこしイベントで集落活性化

1. 評価結果

総合評価

優

地目別分類

田型

規模別分類

中規模

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	岩手県K市 S集落協定			
協定面積 20.0ha	田(100%)	畑(%)	草地	採草放牧地
	水稲			
交付金額 428万円	個人配分			30%
	共同取組活動 (70%)	役員手当		5%
		農地及び水路・農道維持管理費		15%
		研修・多面的機能発揮対策費		9%
		その他		9%
共同機械購入積立金			32%	
協定参加者	農業者60人			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- 当集落では持続的な集落維持に向け、意欲ある担い手への農地集積や耕作放棄地の発生防止に努め、コスト削減と生産性の向上を図るべく機械の共同所有及び利用を推進していくこととした。
- 取組内容として、道水路の適正管理、担い手への作業委託や利用権設定等、休耕田を利用した里芋の生産・販売・農業体験など実施している。
また、地区全体の活性化を図るため、非農家等と連携して集落内の景観作物の作付けなどの景観整備や村おこしイベントを開催するなど地域づくりに向けた取組を実施している。



村おこしイベント 綱引き大会



里芋掘り体験

[平成19年度までの主な効果等]

- 集落営農体制への強化
 - ・担い手への利用権の設定等の推進
- 非農家・他集落等と連携した環境保全活動等
 - ・非農家を含めた協定参加者と農道草刈り、景観作物の作付け、村おこしイベントの開催

集落協定の評価結果（岩手県K市S集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	○	—	◎	
農業生産活動等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等	○	—	○	—	◎	
	農地の耕作・管理						
	農地法面の管理						
	水路・農道等の管理	○	—	○	—	◎	
	水路の管理						
	農道の管理						
	多面的機能を増進する活動	○	—	○	—	◎	
	土砂流亡に配慮した営農						
	景観作物の作付け						
農用地等保全マップの作成・実践		○	—	○	—	◎	
農業生産活動等の継続に向けた取組	生産性 収益向上	機械・農作業の共同化				◎	
		高付加価値型農業の実践					
		地場産農産物の加工・販売					
	担い手 育成	新規就農者の確保					
		認定農業者の育成					
		担い手への農地集積	○	4 ha	3.5ha		88%
		担い手への農作業の委託					
	多面的 機能の 発揮	保健休養機能を活かした交流					
		自然生態系の保全に関する連携					
		多面的機能の持続的発揮に向けた連	○	—	○		—
B 要件	集落を基礎とした営農組織の育成						
	担い手集積化						
加算措置	規模拡大加算						
	土地利用調整加算						
	耕作放棄地復旧加算						
	法人設立加算						
					総合評価	優	

○特産品「しおやもも」の生産拡大と獣害対策

1. 評価結果

総合評価

優

地目別分類

田型

規模別分類

中規模

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	岐阜県T市 S集落協定			
協定面積 23.2ha	田(97%)	畑(3%)	草地	採草放牧地
	水稲	果樹、野菜		
交付金額 419万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50.0%)	役員報酬		2%
		研修会等費		14%
		道・水路管理費		28%
		農地管理費		1%
		獣害防止対策費		4%
その他		1%		
協定参加者	農業者 43人、非農業者 41人、農業生産組織 5人、町内会、改良組合（構成員46人）、しおやもも同好会、担い手グループ、加工グループ			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- 集落内の農家と非農家で連携して水路や農道の草刈りなどを共同作業で行い、一体となって農村集落の機能を守る。また、農作業の担い手を明確化し農作業受委託を推進するとともに耕作放棄地となりそうな農地については利用権設定を推進する。獣害防止対策を図り生産意欲の向上と耕作放棄地の抑制に努める。元気な地域づくりを目指し、有機農業への取り組みや特産品である「しおやもも」の栽培面積を拡大し加工品の開発と販売推進を図る。
- 前期対策は対象農家のみで協定を締結し、共同作業に取り組むことで地域内の連帯感が高まってきた。平成17年度からは非農家も含む集落全体での協定を締結し、交付金の共同活動分は集落全体の活動を対象として使用することとした。

		
耕作放棄地の復旧作業	「しおやもも」の苗木育成	熟した「しおやもも」

【平成19年度までの主な効果等】

- 水路の改修工事の実施60m（目標100.0m）
- 集落での大型機械の共同利用による営農の効率化・低コスト化当初3.0ha（目標5.0ha）
- 担い手への利用集積4.0ha（目標5.0ha）
- 農作業の受委託契約面積の拡大2.0ha（目標2.3ha）
- しおやももの栽培0.5ha（目標1.3ha）

集落協定の評価結果（岐阜県T市S集落協定）

項目	該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価		
				達成率			
A 集落マスタープランの達成状況	○	—	○	—	○		
農業生産活動等として取り組むべき事項	B 耕作放棄の防止等					○	
	①賃借権設定・農作業の委託	○	—	○	—		
	②既耕作放棄地の復旧	○	—	○	—		
	④既耕作放棄地の保全管理	○	—	○	—		
	⑤農地の法面管理	○	—	○	—		
	⑥鳥獣被害防止対策	○	—	○	—		
	⑧簡易な基盤整備	○	—	○	—		
	C 水路・農道等の管理					○	
	①水路の管理	○	—	○	—		
	②農道の管理	○	—	○	—		
	D 多面的機能を増進する活動					○	
	①周辺林地の下草刈	○	—	○	—		
	④市民農園等の開設・運営	○	—	△	—		
	⑥景観作物の作付け	○	—	○	—		
⑩堆きゅう肥の施肥	○	—	○	—			
農業生産活動等の継続に向けた取組	E 農用地等保全マップの作成・実践					○	
	①農地法面、水路・農道等補修・改良	○	—	○	—		
	②鳥獣害防止対策	○	—	○	—		
	③既耕作放棄地の復旧又は林地化	○	—	○	—		
	F A要件					◎	
	生産性・収益向上	①機械・農作業の共同化	○	5ha	3ha		60%
		②高付加価値型農業の実践	○	1.3ha	0.5ha		38%
		③地場産農産物等の加工・販売	○	—	○		—
	担い手育成	①新規就農者の確保	○	1	0		0%
		③担い手への農地集積	○	5ha	4ha		80%
④担い手への農作業の委託		○	2.3ha	2ha	87%		
多面的機能の発揮	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携	○	—	○	—		
総合評価					優		

○周辺林地等を活用した消費者との交流基盤づくり

1. 評価結果

総合評価

優

地目別分類

田型

規模別分類

大規模

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	新潟県M市 K集落協定			
協定面積 54.0ha	田(100%) 水稲	畑(%)	草地	採草放牧地
交付金額 1,092万円	個人配分			49%
	共同取組活動 (51%)	役員手当・事務費		5%
		水路・農道維持管理		3%
		生産性・収益向上対策費		7%
		将来像実現活動経費(特産品開発、直売ほか)		13%
		農道舗装・共同機械購入積立金		23%
協定参加者	農業者32人、農業生産法人1(構成員36人)、生産組織1組合、水利組合1			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

(1) 総合農業生産地域として全国に発信し、都市交流により地域全体がにぎやかに、ひとりひとりが輝き、いきいき笑顔と元気あふれる集落を実現するため、既存の生産組合を発展させ法人化するとともに、当該法人に協定農用地の集積を図る。

(2) 15年4月に設立した「K生産組合」を19年2月に法人化し農事組合法人「Kファーム」を設立。法人経営のコスト削減、作業の効率化を図るほか、エダマメ、かぼちゃなど園芸部門の確立による所得の向上に努めている。

中でも、養蚕の衰退とともに遊休化した集落周辺の里山(畑地、林地)を見直し、わらび園、竹の子狩り園、ぜんまい畑等として整備し、各種収穫体験やオーナー制度に活用することで、年間を通じた消費者との交流を実現している。



荒廃地の復旧作業



造成後のわらび園予定地

[平成19年度までの主な効果等]

- 法人の育成による継続的な農業生産体制の整備
 - ・ 農事組合法人の設立(18年度設立)
 - ・ 法人への協定農用地等の利用集積 37.8ha(21年度までの目標 10.8ha)
- 集落周辺の林地、荒廃畑地の復旧
 - ・ 30aを復旧(21年度までの目標 50a)し、特産物(わらび、ぜんまい、みょうが等)を植栽
- 観光農園の開設・運営による都市農村交流の推進
 - ・ 椎茸の収穫ツアー、椎茸ほだ木・「根曲がり竹」竹林オーナー制度の実施

集落協定の評価結果（新潟県M市K集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	○	—	◎	
農業生産活動 等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等					○	
	賃借権設定・農作業の委託	○	—	○	—		
	農地法面の管理						
	水路・農道等の管理					○	
	水路の管理	○	—	○	—		
	農道の管理						
	多面的機能を増進する活動					○	
	周辺林地の下草刈	○	—	○	—		
	景観作物の作付け						
	農用地等保全マップの作成・実践		○	—	○	—	○
農業生産活動等の継続に向けた取組	生産性 収益向上	機械・農作業の共同化					
		高付加価値型農業の実践					
		地場産農産物の加工・販売					
	担い手 育成	新規就農者の確保					
		認定農業者の育成					
		担い手への農地集積					
		担い手への農作業の委託					
	多面的 機能の 発揮	保健休養機能を活かした交流					
		自然生態系の保全に関する連携					
		多面的機能の持続的発揮に向けた連					
	B 要件	集落を基礎とした営農組織の育成					◎
		担い手集積化	○	10.8ha	37.8ha	350%	
	加算措置	規模拡大加算					
土地利用調整加算							
耕作放棄地復旧加算							
法人設立加算		○	1法人	1法人	100%	○	
総合評価						優	